



# T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年10月25日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第300号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

## 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-ふるさとの授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-ふるさと「初めての谷津」

湖北台西小学校の1年生・生活科として「初めての谷津」の授業が「Abi-ふるさと」として位置づけて展開されました。本授業の目標は「初めての谷津田の散策を通して、生き物や植物から秋を探し、自分の暮らす地域について考える。」でした。6年間を通じた身近な地域である谷津での学習の始まりとして、子ども達は期待に胸を膨らませていました。

授業は、学校を出発するところから始まります。担任の先生と交通安全のルールを確認し出発しました。横断歩道を素早く渡り、列を崩さず歩く子ども達の姿は立派でした。

20分ほどかけて歩いて谷津に到着し、ボランティアの方から「ガマ」や「オオキリヨシの巣」などを見せてもらおうと、興味津々に目を輝かせていました。約1時間、谷津をぐるっとまわり、途中に大きなバッタや茶色いカエル、シオカラトンボなどを見つけては集まって覗き込んでいました。蒸し暑さでちょっと疲れている様子もありましたが、最後まで谷津の自然について、ボランティアの方からの話を熱心に聞き、最後は全員で元氣よくお礼もできました。

来年は、谷津でザリガニ釣りをするそうです。3年生では季節ごとの生き物や植物の観察をしたり、5年生ではお米づくりしたり、大切な学習の場となっています。

「Abi-ふるさと」は、1年生での遊びや探検をとおして、身近な地域や興味を持ち、親しんでいくことから始まります。今回はまさに、そうした学習の一場面となっていました。



### Abi-ふるさと「血脇守之助」

9月28日に、湖北台西小学校の第6学年で、Abi-ふるさとの学習として我孫子の先人の一人、「血脇守之助」について学びました。

始めに野口英世の写真を見ながら、野口英世について意見を出し合い、血脇守之助が野口英世に影響を与えたことを知りました。血脇守之助が若くして職を色々変えていくうちに、医学に興味を持ち、歯科医師となつてからは歯科医師会の向上と歯科教育の振興に力を注いだことを学びました。

そして野口英世との出会いや、野口英世への支援の数々を知り、血脇守之助がどんな思いで野口英世を支えていたのか考えました。血脇守之助がどんな思いで野口英世を支えていたのか考えることで、自分を振り返ったり血脇守之助の偉業を感じたりすることができました。





# TSUNAGU

令和5年10月26日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第301号

## 小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

### Abi-ふるさとと Abi-キャリアの授業実践の様子を紹介するうな～！

#### Abi-ふるさと「井上二郎」

9月26日に布佐南小学校の第5学年で、布佐地区になじみ深い我孫子の先人、井上二郎について学びました。導入として干拓前と干拓後の手賀沼の写真を比較し、その違いを共有し、干拓事業に尽力したのが井上二郎であることを知りました。



その後、江戸時代から現代までの年表で洪水とその対応に追われた布佐地域の歴史を確認するとともに、二郎の活動した時代を学びます。さらに洪水の写真を使って、視覚的にその被害の様子を確認しました。「水害がおこると人々の暮らしはどうか」という課題に対し、ワークシート記入後に周囲の友達と学び合い、「直す作業が大変」「命がなくなる」「安全・健康面が心配」「家や食べ物がなくなる」といった意見が発表されました。

続いて「二郎はどのような思いをもって干拓の仕事に取り組んだのだろうか」という課題を考えました。「ふるさと我孫子の先人たち」を参考にしたり、各自が二郎に共感する思いをめぐらせたりしながら「こわれない堤防を工夫して作りたい」「新田を作りたい」「村を発展させたい」「命を守りたい」などの意見が飛び交いました。途中、担任から、旧井上邸や井上二郎の子孫からもらった苗で育てているバケツ稲の話を変えながら、当時の東京帝国大学に通い土木の勉強をし、水害の心配をなくして真菰ではなくきちんと米の収穫ができるように干拓・開墾事業に力を尽くした二郎について補足説明もされました。

子ども達は郷土の偉人とその功績について関心をもって理解を深めると同時に、二郎の郷土に対する思いや生き方に多くを学ぶことができた授業でした。

#### Abi-キャリア「食べて元気に」

10月11日に我孫子第四小学校の5年生で、Abi-キャリアの一環として、家庭科の「食べて元気に」の授業がありました。

始めに前時の振り返りとして、様々な食品に含まれる五大栄養素を確認しました。栄養素ごとに食品の絵を黒板に貼って視覚化し、さらに五大栄養素の働きによって3つのグループに分けられることを明らかにしました。さらにT2の栄養士から専門的見地を交えた詳しい説明がありました。



続けて給食の献立写真が大型モニターに提示されました。給食の食材に含まれる栄養素が何なのかを個々に調べます。児童は懸命になって調べたり、周囲の仲間と確認し合ったりしました。改めて給食には3つの食品グループが全てそろっており、栄養のバランスがとれていることを確認・共有しました。

さらに「給食はどうして栄養バランスがとれているのか」について考えました。給食提供にはルールがあり、「主食・主菜・副菜の3つがそろっているため、栄養のバランスがとれていること」がわかりました。

本単元を通して、この学びが児童の日常生活に生かされていくとともに、中学校でも展開される「バランスのとれた3食の献立を考える」授業につながっていくことを期待させる1時間でした。



**T S U N A G U**

令和5年10月26日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第302号

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

### Abi-ふるさとの授業実践の様子を紹介するうな～！

#### Abi-ふるさと「ゴミのゆくえ」

10月11日に湖北台東小学校4年生で、Abi-キャリアの学習として、社会科「くらしを支える仕事」の単元で授業が行われました。校外学習で訪れた航空科学博物館や成田空港、空飛ぶ学び舎ラボでのキャリア講座や見学を通して興味を持った仕事について、児童が一人一台端末を使用してプレゼンテーション資料を作成し、発表原稿を完成させることを本時の目標として授業が展開されました。



発表原稿の作成も一人一台端末を使用し、作成した文書を電子媒体で提出します。先生から添削を受けて、再修正しました。タイピングや検索、プレゼンテーションソフトを使いこなす児童たちの姿から、普段の授業から使い慣れていることがわかります。

キャビンアテンダント、グランドスタッフ、パイロット、保安検査員などの職業について、調べた理由やどうしたらなれるのか、仕事の内容、感じたことを約1分半の時間にまとめるのに苦労している姿もありましたが、作成進度や同じ職業を調べているグループに分かれ、情報を確認したり、発表を互いに見合ってアドバイスしたりしていました。

完成した児童は先生に発表を聞いてもらい、改善のアドバイスを受けると、さらによいものにしようと、原稿やプレゼンテーション資料の練り直しを真剣に取り組んでいました。

ICTを活用しながら、興味を持った仕事について調べ、様々な仕事私たちの生活を支えていることを考える授業として、勤労観等の育成につながる授業でした。どんな発表が行われるか、次の授業が楽しみにになりました。

#### Abi-キャリア「わたしの町はっけん」

10月19日に新木小学校2年生で、Abi-キャリアの学習として、生活科の「わたしの町はっけん」の授業がありました。

事前にクラスを3つのグループに分け、グループごとに仕事場見学へ行き、働いている方へインタビューをしています。さらに教科横断的な学びとして、国語の授業で「見たこと」「聞いたこと」「思ったこと」をまとめていました。



本時は、3つのグループのうちのAグループが、他のグループの友達に「見たこと」「聞いたこと」を伝える学習でした。

スーパーマーケットでは、「レジ」「商品」「カート」や「お手伝いカード」を見たり、「1日の客の人数」や「客を集める工夫」など聞いてきたりしたことの報告がありました。また、交番では「指名手配のポスター」「パトカー」「バイク」を見たり、「1日の落とし物の件数」や「パトロールの回数や時間」について聞いてきたりしたことの報告がありました。報告を聞く友達からは驚きや納得の声であふれていました。

Aグループの発表を通して、仕事場によって仕事の内容が全然違うことがわかりました。しかし、どちらの仕事も「新木で生活する人々のために働いている」という共通する部分があることもわかり、今後のキャリア教育が楽しみになる学習となりました。



# T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年10月26日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第303号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

## 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-ふるさとと Abi-キャリアの授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-ふるさと「ごみのゆくえ」

10月19日に孫子第三小学校の4年生で、Abi-ふるさとの学習として社会科「ごみをへらすために、自分にはどのようなことができるだろう」の授業が行われました。

先日、新しいクリーンセンターを見学し、我孫子のごみ処理の仕方などを学んだ児童たちが、自分にできることを「家庭」「学校」「お店」「地域」の4つの場面から1つ選び、自分の意見を考え、述べることを目的として展開された授業です。

自分の意見は①「自分にできること」、②「なぜかというと…」、③「①を実現するためにできること」の3ステップを踏んでまとめていきます。先日のクリーンセンター見学で聞いてきたことを理由に挙げ、「家庭で自主リサイクル」や「学校でエコ工作」など児童の目線でたくさんの意見を書いていた。

意見を書き終わると班での話し合いです。先生から『話を広げるコツ』の確認が行われた後にそれぞれの班で話し合いを始めました。仲間の意見を聞きながら拍手をしたり、大きくうなずいたりしている児童がたくさんいました。

続いて全体での共有です。「自分の着た服を捨てるのではなく、お下がりとしていとこや妹に着てもらおう。」「クリーンセンターの人が言っていたようにゴミが分別されていると処理がしやすいので、きちんと収集日を守ってゴミを捨てる」などの意見がありました。

最後に児童たちはこの時間で話したことや聞いたことを基に自分なりの『ごみマイナス宣言』を記入しました。どの児童も地域の一員として自分のできることを一生懸命考えながら取り組む素敵な授業となりました。



### Abi-キャリア「わたしの町はっけん」

10月19日に、我孫子第二小学校の第2学年で、Abi-ふるさとの学習として生活科「わたしの町はっけん」の学習活動を行いました。

本時では、まず、地図や写真をもとに学校の周りの様子や施設を確認しました。自分の家の近くや、普段利用する場所、通っていた保育園など、自分の生活と結び付けていく子どもたち。自ずと、地域への親しみやこれからの町探検への期待が膨らみます。

一通り確認を終えると、今度はいよいよ、これから訪問する場所についての質問を考えます。本当は、他の場所にも探検に行きたいけれど…、と思う子も、自分の質問を他のグループに託すことができるとわかると、「その手があったか！」と納得の声。自分たちが訪問する場所だけでなく、知りたい場所についてどんどん質問を考えていきました。友達と協力する良さを感じる瞬間でした。

後半は、いよいよ本時の学習活動の目的「質問したいことを整理して、インタビュー計画を立てよう」に沿って、探検するグループに分かれて質問の整理を行いました。残念ながら時間の都合で今回は途中までとなってしまいましたが、次回の活動を楽しみにする姿に、自分たちの住む町について知りたい、探検してみたいという思いが高まっていることが伝わってきました。





**T S U N A G U**

令和5年10月30日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第304号

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

### Abi-キャリアと Abi-ふるさとの授業実践の様子を紹介するうな～！

#### Abi-キャリア「地域を守る人々」

10月19日に我孫子第四小学校の第4学年で、Abi-キャリアの学習として地域の人たちが私たちの安全を守る取り組みをされていることについての社会科学習が行われました。

子どもたちは同じ通学路を利用する3～5名のグループを作り、通学路での危険個所を確認する話し合いを行いました。話し合いが進むにつれ、見守りをしてくれたりする地域の方々の存在に気がきます。パトロール、子ども110番、はた当番、安全管理員さん、火の用心…、



等様々な人たちが安全を守るために活動されていることがわかりました。

学習の後半では先生から「我孫子市子ども見守り隊」の存在や発足の経緯等が紹介されました。また、安全管理員さんからのインタビュー動画がありました。

子ども達は、資料や動画の内容から地域の安全を守る人々の思いや役割を理解すると共に、安全なまち作りに寄与する意識が深まりました。



#### Abi-ふるさと「ようこそ 布佐南小学校へ！」

10月19日に、布佐南小学校の第1学年で、Abi-ふるさとの学習として生活科「ようこそ 布佐南小学校へ！」の学習活動を行いました。来年度入学予定の禮和保育園の年長園児との交流体験学習です。

授業開始前、少しでも園児に喜んでもらいたいという思いから、自主的に机の上をきれいにしたり、床のごみを拾ったりして、出迎えの準備をしました。

そして、いよいよ禮和保育園の園児が教室に入ってきます。1年生みんなで、笑顔で元気にお迎えをしました。その後、事前に決めていたペアの園児を自分の椅子に座らせ、1年生は横に立ちます。最初に、園児たちはプリントでひらがなの学習をしました。先生が鉛筆の持ち方や姿勢、書き方について教えてくれた後、1年生は園児が意欲的に取り組めるように、優しく声をかけたり、励ましたり、褒めたりしながら園児の学習の補助を行いました。ひらがなの学習が早く終わった園児には、色鉛筆を貸し、プリントに色塗りをさせました。



ひらがなの学習の次は、南小学校の校舎内の探検です。園児の行きたい場所を優しく聞いて、手をつないで、その場所に案内します。図書室や家庭科室、体育館などに案内された園児たちはとても喜んでいました。1年生もお兄さんお姉さんとして生き生きと活動しました。

教室に戻ってきた後は、1年生から園児にメダルと折り紙をプレゼントし、さらに南小学校の校歌を歌いました。大喜びする園児たちを見て、1年生も満面の笑みでした。

地域の幼稚園や保育園、認定こども園との交流を通して、改めて自分たちの学校の様子や学校生活について振り返る機会になり、子どもたちが学校への愛着を深める様子が見られました。



# TSUNAGU

令和5年10月30日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第305号

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

## 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-キャリアと Abi-ふるさとの授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-キャリア「食べて元気に」

10月23日に、湖北小学校の5年生が Abi-キャリアの一環として、家庭科で「食べて元気に」の学習活動を行いました。

始めに今日の給食をみんなで振り返り、和やかな雰囲気を出しながら五大栄養素について確認しました。次に、昨夜の夕食について自分が食べた食材とそれに五大栄養素の何が含まれているのかをペアで確認し合い、そこから「なぜいろいろな栄養素を組み合わせるのか」「栄養素一つではどうしてダメなのか」を考えました。そこで、栄養士から専門的見地を交えて五大栄養素の働きを学びます。五大栄養素の働きが記載されたカードを3つのグループに分け、さらに様々な食品が描かれたカードをそこにグループ分けしていきました。

次に給食に出された食材に含まれる栄養素が何なのかを調べます。児童は懸命になって調べると同時に、周囲の友達と確認し合っていました。給食には五大栄養素の全てが含まれていることを確認し、さらに「給食にはどうして全ての栄養素が含まれているのか」を考えました。児童から「みんなの健康を考える」「栄養のバランスをとる」「専門家が献立を考えている」等の発言がありました。また、栄養士からは主食・主菜・副菜について説明と、給食にはその3つがそろっているため栄養のバランスがとれていることも確認・共有しました。

振り返りの場面では、多くの児童から「主食・主菜・副菜をそろえると3つのグループがそろい、栄養のバランスが良くなる」「栄養を考えて普段から好き嫌いをなくしたい」といった内容の記述がみられ、本時の学習が児童にとって学び多きものであったことが感じられました。この学びが個々の児童の日常生活に生かされていくとともに、中学校でも展開する「バランスのとれた3食の献立を考える」授業につながっていくことを期待させる1時間でした。



### Abi-ふるさと「井上二郎」

10月23日に、湖北台西小学校の第5学年で、「我孫子の先人・井上二郎」を題材に Abi-ふるさとの学習をしました。

最初に洪水被害の写真を見るところから学習は始まりました。我孫子市でも、洪水があったことを写真で確認し、水害の恐ろしさをみんなで話しました。

次に、手賀沼の昔と今を写真で比較します。「昔の手賀沼は横に長くて大きい」「今の手賀沼はなめらかな形」「埋め立てた所に家がありそう」など、気づいたことを話し合いました。そこから、手賀沼でも水害被害が頻繁に起きていることを知りました。その数は、300年間で10回以上です。「水害が起こると直すのが大変で金もかかりそう」「田畑をやり直さなくてはいけなくなる」など、人々の厳しい暮らしについて考えました。

そして、手賀沼の干拓に尽力した井上二郎について「ふるさと我孫子の先人たち」を通して詳しく学びました。児童は「水害が起こるたびに二郎はどんなことを思っていたのか」を考えました。「困っているみんなを助けて」「不安なく生活できるようにしたい」といった考えが発表されました。また、「干拓後、二郎はどんな思いだったのか」について考える場面では、「村人が不安なく生活ができる」「頑張ってたかった」といった考えが発表されました。学習を通して、児童はみんなのために干拓・開墾に力を尽くした二郎の思いに迫ることができました。





# TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年11月2日

我孫子市小中一貫教育だより

第306号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

## 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-キャリアの授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-キャリア「まちの『すてき』をつたえます」

10月24日に、我孫子第四小学校の2年生が、国語科「まちの『すてき』をつたえます」をAbi-キャリアの一環として学習しました。

本単元のゴールは、子ども達が地域を探検した内容について作文を書いて伝え合うことを通して、地域で生活したり働いたりしている人々について考えるとともに、自分たちの生活は様々な人・場所と関わっていることに気づき、地域に愛着をもつことです。本時は作文を書くための構想を組み立てる時間でした。

本時の学習課題は「メモをならべて、組み立てひょうをつくろう」です。まずは「メモを並べるためにはどんなミッション(条件)が必要か」を考えました。児童からは「場所ごとに分けて並べる」「相手に伝わるように順番を考えて並べる」等の明確な回答があり、担任からも「本当に伝えたいことを選ぶ」「写真も有効に使う」といったアドバイスがあり、全体で共有しました。

続けて、ミッションを意識しながら自分のメモカードや写真を組み立て表に並べていきます。多くの児童が相手に内容がよく伝わるにはどうしたらいいかを考え、友だちと話し合い一生懸命に取り組んでいました。

児童の様子を見ながら、担任が工夫してある子の組み立て表を大型スクリーンに映し、ミッションの内容を再確認。それを基に子ども達はペアになってお互いの組み立て表を見せ合って学び合い、自信を深めてからメモカードと写真を組み立て表に貼り付けました。

授業の最後には、ほとんど全ての児童が本時の目標を達成することができました。



### Abi-キャリア「職業人講話」

10月24日に、湖北台東小学校の第6学年が、Abi-キャリアの一環として「プロフェッショナルに聴く会」の学習をしました。「パティシエ」「カメラマン」「看護師」「消防士」「劇団員」の5人のプロフェッショナルから、屋台方式に3つの講話を聴きにいきます。子どもたちは目を輝かせながら各職業人の前に行きました。

講話の内容は様々です。「子どものころに抱いていた夢の話」「どうしてその職業に就くことになったのか」「やりがい」など、子どもたちが今現在抱いたり悩んだりしている「夢」に寄り添ったものがありました。また、命と向き合う仕事の話では、目の前の人を命を失う姿を目の当たりにする辛さがある話もありました。子どもたちはのめり込むように、真剣に話を聴いていました。そして、どの職業人も共通しているのは「人のため」「自分のため」に仕事を一生懸命しているということでした。

お話以外にも、仕事で着用している衣服を着る体験や、仕事道具を実際に触らせてもらう体験もしました。重たい防護服を着ながら人命救助にあたる大変さを感じたり、大きなカメラでモデルの笑顔を撮る楽しさを感じたり、ミュージカルの生歌に感動したりと、仕事を身近に思わせてくれる工夫がたくさんありました。

子どもたちの目にはどのプロフェッショナルの方もキラキラと輝いて、とてもかっこよく見えました。講話が終わると児童一人一人が職業人のところへ行き、感謝の言葉を述べる姿もありました。「仕事をするって素敵だな」「自分が一生懸命取り組める仕事に就きたいな」と思わせてくれるプロフェッショナルに聴く会となりました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年11月2日

我孫子市小中一貫教育だより

第307号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

### Abi-ふるさとの授業実践の様子を紹介するうな～！

#### Abi-ふるさと「わたしの町はっけん」

10月24日、並木小学校の2年生の生活科で Abi-ふるさとの学習の一環として、「わたしの町はっけん」の授業がありました。午前中に町探検してきたことを振り返り、自分たちが暮らす町の良さに気づくことが授業のねらいでした。

「なみ木のくいいね」をつたえ合おう」の学習課題が提示されると、町探検で見つけた「いいね」をワークシートに書き出します。「どこで？（場所）」「どんなこと？」「誰が？」「何を？」などを意識して、友達に知ってもらいたいことを書き始めると、あっという間にワークシートが埋まり、早くみんなに伝えたそうな表情をしている児童ばかりでした。「接骨院には怪我を治す機械がいっぱいあった」「保育園の先生たちが優しくかった」「中央学院大学の食堂は広かった」「電力中央研究所では風で電気をつくる研究を見せてもらった」「開店前のお店のキッチンに入れてもらった」など、並木小学区には、優しい人や施設など、たくさんの「いいね」があることを伝え合い、共感や「私も行ってみたい」という声が教室にあふれていました。



自分が暮らす地域の人やもの、ことに興味を持ち、来年度以降、社会科の我孫子市についての学習につながっていきます。ふるさと我孫子を大切に思い、自分の言葉で語れる子どもたちが増えていくことに嬉しさを感じました。



#### Abi-ふるさと「我孫子市マイスターになろう」

10月31日、湖北小学校の3年生の総合で Abi-ふるさとの学習の一環として、「我孫子市マイスターになろう」の学習がありました。前時までに子どもたちは我孫子市のお気に入りの場所について新聞を書いています。本時はその新聞に書かれた場所がどこにあるのか、「我孫子市オリジナル地図をつくろう！」を課題として、グループで協力して地図を作ります。

最初に、グループで役割の確認をしました。役割は「新聞を見る人」「マップで調べる人」「地図に書きこむ人」です。まず、「新聞を見る人」がコラボノートでクラスの友達が作成した新聞を開き、場所を決めます。次に、「マップで調べる人」がインターネット地図を使って、それが我孫子市のどこにあるのか調べます。最後に「地図に書きこむ人」がグループの地図にその場所を書きこみます。この作業をクラスの数分言い、オリジナル地図を完成させます。

役割がはっきりとしているので、それぞれが自分の仕事に責任を持ち、協力して作業を進めることができました。公園や神社、習い事をしているスポーツクラブ、よく行く回転寿司屋やスーパーマーケットなど、どんどんと地図に書きこんでいきました。地図を作っていると「えっ！また356号線のそばにあるの？」と、国道沿いに建物が多く集まっていることに気がつく声がありました。

学習の最後に各グループからお気に入りの場所の発表がありました。「我孫子市にしかない鳥の博物館がお気に入りです。」といった発表に、自然と拍手が起こりました。そして、担任の先生から「先生は我孫子市が大好きです。みんなも我孫子市をもっと好きになり、大好きな我孫子市で育っていきましょう。」の話で授業は終わりました。







# TSUNAGU

令和5年11月17日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第308号

## 小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

### Abi-ふるさとと Abi-キャリアの授業実践の様子を紹介するうな～！

#### Abi-ふるさと「飯泉喜雄」

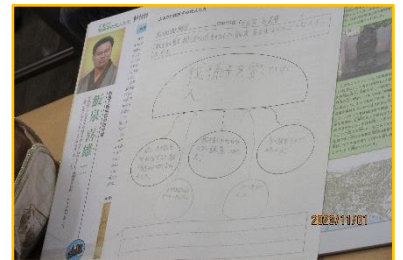
11月1日に我孫子第二小学校の第5学年で、Abi-ふるさと「飯泉喜雄」の学習が行われました。

まず、我孫子駅ができる以前とできた後の地図を比べました。「家が増えている」「我孫子に人が増えたのではないかと、地図からわかったことを発表しました。

次に、「我孫子駅開設運動をした飯泉喜雄はどのような人だったのか」の学習課題を見だし、授業者の範読でふるさと我孫子の先人から、飯泉喜雄の功績について調べました。調べたことをワークシートのクラゲチャートの足の部分に書きます。「自分の土地を現在の我孫子駅の土地と交換し、駅開設のために無償で提供したこと」「町長や議員となり、我孫子に尽力したこと」「常磐線の誘致のために私財を投げうったこと」など、次々にワークシートを埋めることができました。

飯泉の功績を全体で共有した後、いよいよ学習課題に迫ります。クラゲチャートの頭の部分に「飯泉喜雄はどんな人か」を考えて書いていました。「やさしい」「人のために頑張れる」「自分のことは気にしていない」「我孫子のために強い信念を持っている」などの発表があり、最後に授業の振り返りをしました。「我孫子駅がなかったら不便だと思う。もっと我孫子をよくする人が増えたらいいし、自分もそうなりたい」と振り返る児童がいました。

ふるさと我孫子の先人から、自己の生き方を考えられる授業となりました。



#### Abi-キャリア「上級生としてできること」

11月2日に高野山小学校の第4学年で、Abi-キャリアの一環として「上級生として自分たちに必要な力やできることは何だろう」をテーマに学級活動が行われました。

最初に、4年生になってからできるようになったことについて振り返りました。また、4年生になって行った「季節の飾り付け」や「あいさつ運動」は何のためにやっているのかについてみんなで確認をしました。「下級生のため」「自分たちのため」に今までも色々な活動をしていたことを再確認することができました。

今日の学習テーマは「高学年に向けて自分たちができる活動を考えよう」です。まず高学年のイメージについてみんなで考えました。「信頼できる」「かっこいい」「優しい」などの前向きな意見がたくさん出ました。「並ぶ姿がかっこいい」「下級生に優しい」など、より具体的なイメージも持つことができました。

そして、いよいよ自分たちでできることをグループで具体的に話し合っていきます。先生から配られた「話し合いの進め方カード」を参考にしながら司会者がみんなの意見を聞いていきます。その後、班で意見をまとめ、短冊に班の考えを書いて、黒板に掲示しました。

自分たちのために「並ぶのを早くする」「みんなに声かけをする」、下級生のために「掃除を手伝う」「休み時間、一緒に遊ぶ」などの様々な意見がでました。

今後は学級委員を中心に今日出た意見を学年で話し合い、学年全体で実施していく予定です。話し合い活動を通して、自分の考えや思いを周りに伝えたり、下級生を思いやり、進んで行動したいという気持ちを持つことができた。





# TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年11月17日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第309号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

## 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-ふるさとと Abi-キャリアの授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-ふるさと「わたしたちの町はっけん」

11月8日に布佐小学校の第2学年で、Abi-ふるさとの一環として生活科「わたしたちの町はっけん」の学習が行われました。町探検で調べてきたことを1年生に向けてクイズ形式で紹介することを学習のゴールとし、本時はそのクイズを清書する時間でした。

最初に振り返りとして、町探検の活動の様子を写真で確認し、「1年生に伝えるためにクイズ作りを頑張ろう！」と意欲を高めました。そして、クイズの清書で気を付けることをおさえます。「1年生が見やすいように、文字は大きく書く」「1年生がわからない文字は使わない」と、相手意識をしっかりと持って、活動を開始しました。「カタカナはもう学習しているよね？」や『作る』にはふりがなをふったほうがいいんじゃないかな？」など、相談しながら大きく、ていねいに仕上げていきます。



清書が完成した人から発表の練習をします。本時はたくさんの先生が参観に来ていたので、いろいろな先生に出題をしました。クイズの後には、その解答の理由や感想を述べます。先生方も「知らなかった！」と驚いていました。学習の最後には、代表者数名がクラス全体にクイズを出しました。「○か×を手で表してください」などと呼びかけ、盛り上げていました。正解の発表では「やったー！」と喜びの声や「すごーい！」と驚きの声上がり、大変盛り上がりました。本番の1年生への発表が楽しみになる時間となりました。



### Abi-キャリア「人権教室」

11月8日に根戸小学校の第5学年で、Abi-キャリアの一環として「人権教室」が行われました。我孫子市の人権擁護委員と担任によるチームティーチングです。

最初に「人権」とは何かを学びます。人権について扱った動画を視聴し、ワークシートにまとめました。続いてワークシートに沿って「これはいじめだと思うこと」「高齢者にしてあげたいこと、してはいけないこと」「障がい者にしてあげたいこと、してはいけないこと」について考えました。グループの友達や学級全体でも話し合います。「点字ブロックの上に邪魔な物を置かない」といった深く考えている意見もあり感心しました。

ここまでの学習のまとめとして「人権俳句」の作成に取り掛かりました。子ども達は国語で俳句についての学習を終えており、見本例が黒板に貼ってあることもあって意欲的にワークシートに作成していました。さらにグループでお互いの俳句を紹介し合い、「これがいい」と合意が得られた代表2～3作品をマジックで清書します。グループごとに全体の前に出て発表しました。いろいろな視点や考え方で千差万別の作品が発表されましたが、授業の内容をしっかりと踏まえた見事な作品で、それぞれの発表者には温かい拍手が送られていました。

授業を通して人権について改めて考えた子ども達、今後の日常生活の様々な場面で関わるであろう問題について、今日の学びが少しでも生かされることを願うとともに、中学校で実施する人権講演会や社会科、総合学習を始めとした人権の学習へと繋がっていくことを期待しています。

